

平成 28 年 12 月 19 日

12 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の伐採現場はフル稼働状態。荷動きは大手製材工場の旺盛な手当が続き、応札も多く好調な引合い続く。スギ、ヒノキともに柱材は堅調、中目材は出材が高齢級材から間伐材になり落ち着いた引合い。価格は間伐材の入荷量が増加していることから、全般に横這いから弱保合となる。スギ、ヒノキとも柱材は横這い、中目材は高齢級材が保合で、間伐材は弱保合で推移。

群馬の製材工場は年末に向けて需要が好調なことから順調に稼働。原木は国有林、民有林とも出材量が安定し集荷しやすい状況。製品販売は注文材、公共工事向けは順調だが、製品市場出しや地場材木店・工務店向けは注文少なく低調。製品在庫は貫等副産物製品、スギ柱、ヒノキ土台、母屋が品薄で、破風板など羽柄製品は潤沢。価格は全般的に低位安定状態。

2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は、米国内工場の越冬在庫確保のため原木価格は上昇、北西部は天候悪く今後の出材に悪影響。産地港頭在庫は小径木を中心に需給が締まる方向だが、現状在庫の逼迫感はまだ出ていない。ウェアハウザー社の 12 月積み対日米マツ価格は、前月積比一律据置き。10 月の米材丸太の入荷量は 254 千 m^3 で、1-10 月累計では前年同期比 14%増のペース。出荷量は 237 千 m^3 で同累計では 5%増。在庫量は 12 ヶ月分の 271 千 m^3 で前月比 16 千 m^3 減。日本国内の大手米材工場は住宅着工好調を受け堅調を維持。米加針葉樹製材品協定は失効後新協定の締結が出来ず、米国業界団体は加製材品への報復関税賦課に関し提訴の動き。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)11 月の入荷量は 22 千 m^3 (前月比 29.7%減)、出荷量は 29 千 m^3 (同 8.0%減)。在庫量は 46 千 m^3 (同 11.9%減)。10 月の米国住宅着工は、年率 1,323 千戸で前月比 0.3%増。ランダムレンジス紙の 12 月上 15 種木材価格平均は、\$ 355/M で 10 月末比 1.4%増加。現地価格は引続き日本からの注文で大手サプライヤーも強含み。12 月もプレカットを中心に各社忙しく、全体に荷動きも良好。依然としてパワービルダー系の仕事良い。韓進海運の影響もあり船運賃が上昇傾向。現地丸太高騰で製品の \$ 価も高騰中。

3. 南洋材

サバは雨季入りのため原木の出材は減少傾向。併せて今後現地が祝日の多い時期に入るので更に出材が減ると予想される。原木価格は下がる要素がなく、製材工場もすでに強含みに転じている。円安と産地高に挟まれて日本勢の買いは一層厳しい状況。サラワクはサバ同様に少出材、原木価格は強含み。今後の供給先細りを見越しインドの買い意欲強い。PNG ソロモンはマレーシアの出材減少の影響で価格は強含みで変わらず。丸太の入荷は増加、出荷は横這い、在庫は増加。製材品の入荷は横這い。丸太の販売は合板・製材用とも平年並み。製材品の今後の相場展開は需要が乏しい中、急激な円安と供給不足で上昇が予想される。

4. 北洋材

シベリア地域は寒波襲来で一部で搬出遅れ。輸入製品は中国、日本の購買意欲高く原料価格が高止まり。丸太価格はエゾマツ・カラマツ \$ 130、アカマツ \$ 163 で保合。製材品は現地挽き上級グレードが円安で円貨では強含み、国内挽きは保合。アカマツ原板は \$ 360 で保合。荷動きは現地挽き 3,0cm×4.0cm 上級グレード需要堅調、マンション不調で桟木・3m タルキが鈍い。国内完成品は良質グレードが堅調で低級品は低調。国内の北洋材製材工場は特注品で採算維持、稼働は通常操業、10月の原料調達丸太が通常量、原板は端境期で入荷少ないが1月から回復の見込み。上級材・特殊材の受注多いが対応難しい。

5. 合板

原料丸太のうち国産材の需要は依然旺盛で価格は横這い。カラマツの高値張り付きは継続。ロシア材は冬場に向かったの出材減と中国向けの需要増加で価格は上昇。米材は国内需要が好調、日本、中国向けも需要旺盛で価格は強め。南洋材は引続き高値張り付きのまま推移。10月の国内合板総生産量 26.4 万^mのうち、針葉樹合板は 25.1 万^mと高水準をキープ。出荷量は 25.8 万^mと過去最高を記録。在庫量は更に減って 8.9 万^m、うち構造用合板は 7.9 万^mまで減少。国産針葉樹合板の12月販売価格は12mm、厚物ともに横這い。品薄感が強く価格よりも数量確保が大きな問題。

国産針葉樹合板の需要は引続き好調。生産量、出荷量とも増加しているが、マーケットでの品薄感は全く解消されない状況。特に厚物の納期遅れが顕著で、直需向け優先でルートは二の次の状態。輸入合板は生型枠、ラワン構造用の玉不足は深刻、円安影響もあり価格は極端に強気。普通合板も含め全体的に在庫量少ない。先行き国産針葉樹合板は、需要旺盛が続く中で年末に向けてメーカーのトラック確保の問題もあり、流通での玉確保への不安は一層大きくなって

いる。輸入合板は一部アイテムのタイト感は続き、価格も強気のまま推移すると予測。品薄品目は針葉樹合板の 12mm、厚物、輸入生型枠、ラワン構造用合板 12mm。

6. 構造用集成材

11 月下旬から遅れていたラミナが入港、12 月末では在庫が若干増える見込み。為替レートが急激に€高になりラミナの価格は上昇。QTR1 ラミナ交渉が始まり現地では船賃アップを価格に転嫁したい模様。国産集成材の受注は依然好調。販売・荷動きとも良好で、RW 梁桁の納期は 2 ヶ月以上。販売先行きは受注残多く、年内は好調が続く見通。在庫は受注量多く極少だが、ラミナ入港が順調になったことから年明け後は徐々に緩和される方向。価格は全般に横這い。輸入集成材は供給の不安定続き、WW 柱は品不足続く。輸入グルーラムの国内在庫は底をついており、より品薄感が出ている。全国のプレカット工場はキャパ一杯の受注で追加受注ができない状態、解消は来年 1 月以降の見込み。

7. 木材チップ

チップ原木の入荷状況は、FIT との競合で地区によって増減はあるが、相対的には良好。解体材の発生量は例年並み。消費は製紙用でおおむね入荷は順調、使用も安定し一部樹種では入荷増の傾向。燃料用ではバイオマス発電が年末年始の原料確保に動いている。在庫は横這い若しくはやや増加。針葉樹チップ価格は高値横這い。輸入チップは為替レートの変動に伴い価格・運賃とも先行き不透明。

8. 市売問屋

国産材の構造材はスギ柱角の引合いが活発で、ヒノキ柱は量的に揃っており当用買い。造作材はリフォーム需要が旺盛で内装用役物造作材の動き良い。外材の構造材は為替変動による先安観から比較的土付いた商況。造作材はスプルー・米ヒバ良材の動き好調。年末商戦用の店舗改装や仮設物、年明け後の展示会用向けに、ここにきてロシアアカマツの中・上級品の引合い増える。

9. 小売

国産材の構造材はスギ KD 柱、小割、板いずれも保合、ヒノキ KD 柱・土台とも保合。外材はロシアアカマツタルキ保合、米ツガ角・平割とも保合、SPF 保合、WW 間柱保合。造作材はスプルー・ピーラー平割保合。タモ・ナラ平割保合。集成材は WW、RW の柱・梁保合。合板は国産針葉樹保合、輸入品弱保合。プレカ

ット工場は見積・加工とも忙しく稼働中だが、年明け後は不透明。工務店は新築・リフォームとも仕事量増加したが、合板等の原料価格上昇分の転嫁が課題。

12月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	→	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	↘	↘	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×4m	→
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	↗
			米マツ ISタイプ コースト	↘
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	→
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
			ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD)30×40 AB	↗
			アカマツ(KD)15×45AB 18×45AB	↗
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↘
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗